



### 「こわ〜いおはなし会」

7月18日小須戸まちづくりセンター1階の保育室で恒例の「こわいおはなし会」が開催されました。小学生を中心に、お母さんと子どもたち47人が参加し、こわいおはなしを楽しみました。

会場の照明を消してロウソクに灯りがともされるとおはなしが始まります。読み手の人から絵本の「じいちゃんによる」などが読まれると、子どもたちは引き込まれるように耳をそばだてて聞いて、会場内はシーンと静まり返っていました。

おはなしの後、手作りのお面が子どもたちに贈られ、みんな大喜びでした。

特別なプログラムは、夏の「こわいおはなし会」と冬の「クリスマスおはなし会」の2回ありますが、ボランティアグループ「おはなしポケット」は「この特別な会で子どもたちがもっと『おはなし会』に来てくれたり、本を読んでくれるきっかけになれば」と期待していました。

「おはなしのせかいへ」は毎月第3土曜日の午前10時30分から開催されています。



平成27年度 小須戸地区公民館主催事業

# 季節の花あそび 2015 ～寄せ植え教室～

日程：平成27年9月29日、10月20日、11月17日(全3回)  
時間：10:00～11:30 ※ただし、2回目は9:45～15:00  
会場：小須戸まちづくりセンター 研修室2  
対象：成人15名(応募多数の場合は抽選)  
講師：園芸福祉士 こんだいら あやこ さん  
参加費：5,800円  
(1回目と3回目は各2,000円、2回目は1,800円)  
持ち物：エプロン、軍手  
募集期間：平成27年9月9日(水)～17日(木)まで



第1回目  
9月29日(火)  
ハロウィンを彩る  
寄せ植え  
お持ち帰り♡



第2回目  
10月20日(火)  
大人の遠足♪  
お出掛け♪  
(新潟市中央区方面)



第3回目  
11月17日(火)  
クリスマスを彩る  
寄せ植え  
お持ち帰り♡



お申込み先  
小須戸地区  
公民館  
☎ 0250-25-5715

# こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟市秋葉区小須戸120番地5  
TEL (0250) 25-5715  
FAX (0250) 38-5210  
編集 公民館報編集委員会

## すまいる11月

郷土の歴史とまちづくり  
「学校」という映画を見た。西田敏行主演の夜間中学での生徒と教師のふれあいを描いた物語である。調べてみると私の出身高校も元は夜間中学だったらしい。全く知らなかった。私は大で日本史を専攻している。学んでみて郷土の歴史に疎い自分自身に気がついた。



舟戸 長沢利紀さん

そこで『小須戸町史』を開いてみた。小須戸中学校設立に関して「戦後の荒廃した時代に無から有を生むように発足」とあった。この

文章を見てまちづくりの話題が思いついた。近年「地域創生」の語の下、まちづくりの動きが活発だ。小須戸でも町屋を活用したまちやカフエがオープンした。無から有ではなく、今ある地域資源を活かして新しい価値を地域に生み出すのがまちづくりである。そういう意味で地域の歴史を知り活かすことが、今後大切なのではと思う今日この頃である。

## 「秋葉区民ハイキング」参加者募集

標高1350m初秋の妙高原の風を受けて、笹ヶ峰の夢見平を巡ります。

開催日/9月27日(日)雨天決行  
行き先/笹ヶ峰夢見平遊歩道【妙高山麓】  
定員/45名(中学生以上)最低人員30名  
参加費/4,000円  
(交通費、保険料他。食事代は含みません。)

主催/秋葉区  
出発場所・時間  
小須戸出張所/午前4時50分  
秋葉区役所駐車場/午前5時00分



申込み・問合せ/8月24日(月)までに

秋葉区地域課文化・スポーツ係  
(直通TEL0250-25-5671、代表TEL0250-23-1000)へ参加費を添えて申込書を提出して下さい。(但し、定員になり次第締切ります。)

## 「郵便ポスト復活！」

小須戸まちづくりセンターの工事に伴い、一時撤去されていた「旧小須戸出張所」敷地内の郵便ポストの設置が終了しました。長い間、皆様にはご不便をお掛けしましたが、どうぞご利用下さい。

(設置場所)  
小須戸出張所玄関前



(取集時間)  
土曜・平日 午後三時頃  
日曜日 午後一時頃

## 高齢者スポーツ大会

### 運動不足の解消をめざして!

七月五日、小須戸小学校体育館で、小須戸高齢者クラブ協議会主催のスポーツ大会が開催されました。

この大会は小須戸地域を五つの地区に分けて、「ザル引き」「風船送り」など七つの個人種目と「ゲートボール」「輪投げ」など四つの団体種目で競うもので、今年四十回を数えました。

当日は梅雨空の曇天でしたが、体育館の中は元気な声が響き渡り、二百人余りの参加者は和気あいあいとスポーツを楽しんでいました。



「練習どおりにはいきません」

成績は次のとおりです。

- 優勝 横水チーム (横川浜・小向・水田)
- 準優勝 矢代田チーム (鎌倉・天ヶ沢新田)
- 三位 鎌天チーム (鎌倉・天ヶ沢新田)
- 四位 新保チーム
- 五位 小須戸チーム



# 交通安全を願いお守りを配布



## 皆の願い 「無事カエル」

秋葉区交通安全協会小須戸支部は7月16日、小須戸中学校をはじめ管内の小学校、幼稚園・保育園に会員手作りのお守りを届けました。小須戸支部管内では平成21年10月29日以来、死亡事故がなく、今年5月6日に2千日を達成したということから、これを記念して、これからも死亡



<小須戸中学校に届けました。>

事故なしが続くことを願う「無事カエル」のお守りを学校・園を通じ生徒・児童・園児に配り、一層の交通安全を呼びかけました。

# 男の料理教室開催しました



## あなたも いかがですか!

7月22日小須戸まちづくりセンターで、23日小須戸ふれあい会館で「男の料理教室」が行われました。この教室は小須戸地区公民館の主催事業で、例えば奥さんが病気になる時、これが出れば何とかなるという料理の基本を楽しく学ぶもので



当日は、うららこすど支配人(食育アドバイザー)の佐藤千穂子さんを講師に迎え、「肉じゃが」や「ほうれん草のおひたし」、「豆腐と生ワカメの味噌汁」などを作りました。参加者の皆さんは、和気藹々と料理に腕をふるっていました。

## 小須戸の朝市 ふれあい交流の場

小須戸の朝市は毎月三と八のつく日に、小須戸児童公園隣の駐車場を会場に開催されています。

新鮮な野菜や花などの地場ものを中心として、衣料品や履物などの露店が出店し、地域の皆さんのふれあいの場となっています。

「うんめそげなトマトらね。」  
「まけるすけ買うていつてくんなせや。」とお客さんとお店のおばあちゃんとの会話も弾みます。

お客さんは地元の常連さんが多く、なじみの店を持っていく人もいます。生産者が直接売ること、顔が見



新鮮な野菜と会話が楽しい朝市

## 子どもたちの 町屋見学

小須戸小学校の4年生41名が総合学習の一環で、6月24日に小須戸商店街にある町屋を見学しました。

子どもたちは最初に本町通りの町屋ギャラーリ薩摩屋で地域教育コーディネーターの村井さんから鼻隠し、ガラス戸、戸袋、大戸などの特徴ある外観や茶の間、居間、土間、中庭などの間取りの説明を受け、その後、薩摩屋、割野屋、あかり庵と順に外観や間取りを見て回りました。



## 地域での 活動を通じて

小須戸中学校  
教頭 逸見 東子

四月十二日土曜日に信濃川親水緑地公園において、小須戸地区クリーン作戦が行われました。小須戸中学校としては、生徒会ボランティア委員会の呼びかけで行われる今年度最初の地域貢献活動となります。午前七時からの活動でしたが一三二名の生徒が参加しました。今年度、小須戸中学校では、これまで行ってきた地域での様々な活動を4段階に整理してみることを試みました。ステップ1はボランティア活動のよさを知るための活動。ステップ2は、人と人の触れ合いを通して、ボランティア活動への意識を高める活動。ステップ3は、地域主導で生徒が地域の一員として参加する活動。ステップ4は生徒が自ら課題を見つけ、他

者や地域のために主体的に行う活動です。将来、社会を担っていく一員としてその自覚が高まっていくように地域の協力を得ながら、様々な活動を進めています。地域での活動を見つけたときには、生徒に地域の先輩として声を掛けて頂きたいと思っています。様々な活動を通じて、地域が好きな生徒、地域での自分の存在を感じる生徒を育てていきたいと取り組んでいます。



## 文芸欄

俳句  
海の色して茄子漬の海の味  
むつまじき小鳥のつがひ庭若葉  
葬送や植田の沖のけぶりをり  
音沙汰のなき人忍ぶ夏の月  
ふる里の亡き父恋し柿の花  
合歓の花妻の寝顔を見て帰る  
退院の我が家へ急ぐ蝉時雨  
山の宿紫陽花ほのと水鏡  
中野 太浪  
丸山 紀子  
間野 えり  
吉澤 文子  
本多 玲子  
熊倉 ひろむ  
馬場 綾子  
佐久間 久子

川柳  
笹竹に園児の夢が花盛り  
七夕の逢瀬気づけば金婚譜  
逢引きへ水差す雨の天の川  
七夕の笹に息災願う喜寿  
増井 都留  
会田 修  
保科 志枝  
能登 としお

短歌  
嫁ぎ行きし娘の部屋入れればカレンダー  
時止め置きで迎えくれたり 久保ミネ子  
芋の葉は風と戯れココロと 高橋キヨ  
空を映せる露を転がす  
鎌の手休め梅雨の晴れ間に こみけ  
ストレッチ若いつもりで張りきれば 阿達よしい  
少し遅れてあちこち痛む  
枇杷の種時さし二十年待ちわびて 玲 泉  
仏前供えびわ熟れるなり